

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 101
ID 603205

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井公民館、中央・東福寺・川柳・共和・信里・西寺尾・塩崎分館								
指定管理者名	篠ノ井地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	5965	篠ノ井公民館			3363	篠ノ井公民館信里分館			
	5958	篠ノ井公民館中央分館			3368	篠ノ井公民館西寺尾分館			
	3367	篠ノ井公民館東福寺分館			3365	篠ノ井公民館塩崎分館			
	3366	篠ノ井公民館川柳分館							
	3364	篠ノ井公民館共和分館							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	本館：学習室6 料理教室1 工作室1 展示ホール2 中央分館：学習室2 多目的ホール1 東福寺分館：学習室2 集会室1 料理教室1 川柳分館：学習室3 集会室1 料理教室1 共和分館：学習室3 集会室1 料理教室1 信里分館：料理教室1 西寺尾分館：学習室2 料理教室1 体育館1 塩崎分館：学習室3 集会室1 料理教室1								
施設設置目的	一定区域内の住民のために生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・公平、公正な運営に努める ・各種団体等と連携を図り、地域文化の中核的役割を果たす ・利用者の安全対策に万全を期す ・住民のニーズを把握し、創意工夫をし、親切丁寧な対応を心がけ、苦情に対しては真摯に対応する ・館内を清潔に保ち、機能の維持向上に努め、維持管理を徹底する ・環境に配慮し省エネ及び経費節減に努める ・個人情報の保護に努める 								
主な実施事業	成人学校の開催 14講座 市民講座の開催40講座 通年定期講座の開催 1講座8回 自主事業の実施3講座14回 体育事業の実施4回 文芸祭の開催1回 各分館毎の文化事業及び運動会の開催 施設の貸出 体育施設の貸出 各種団体等との連携事業の実施								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	篠ノ井地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日	3年	管理運営開始日	平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		篠ノ井公民館 利用者数	人	46,140	44,931	43,227	44,813	104%	
		篠ノ井公民館 利用率	%	33.4	33.9	32.6	32.1	98%	
		篠ノ井公民館分館(7館)利用者数	人	46,343	44,311	44,498	43,448	98%	
		篠ノ井公民館分館(7館)利用率	%	14.3	14.7	15.0	16.8	112%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井公民館の利用の許可、不許可等に係る業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・篠ノ井公民館の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「脳活カフェ なでしこ塾」の開催 12回開催 ・「民話散歩」の開催 1回開催 ・「残留邦人帰国者支援事業」の開催 1回開催 							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト面においては、市民ニーズに即した市民講座を年間40講座(64回)、通年定期講座1講座(8回)を開催するなど、積極的な事業展開をするとともに、工夫を凝らしたポスターやチラシを作成し、報道機関や施設等を通じて広報に努めた。 ・ハード面では、利用者に快適に使っていただくため、経費の節減に努め積極的に施設改修を行い、本館関係16箇所(906,103円)、分館関係14箇所(1,446,523円)を実施した。 								

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容	各講座終了後受講者にアンケートを行なった。 40講座 受講者数1,122人 回答者数704人(62.7%)	
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果		4
	講座の種類	講座数 受講者数 回答者数(%) 満足(%) ほぼ満足(%) 普通(%) やや不満(%)	
	料理関係	5講座 101人 71人(70.3%) 54人(76.1%) 16人(22.5%) 1人(1.4%)	
	園芸関係	4講座 112人 61人(54.5%) 55人(90.2%) 6人(9.8%)	
	生活関係	8講座 147人 118人(80.3%) 96人(81.2%) 19人(16.1%) 3人(2.5%)	
	教養関係	8講座 230人 166人(72.2%) 110人(66.3%) 52人(31.3%) 3人(1.8%) 1人(0.6%)	
	IT関係	3講座 55人 35人(63.6%) 23人(65.7%) 7人(20.0%) 4人(11.4%) 1人(2.9%)	
	芸術関係	5講座 304人 161人(53.0%) 125人(77.6%) 29人(18.0%) 6人(3.7%) 1人(0.6%)	
	健康関係	3講座 64人 50人(78.1%) 43人(86.0%) 7人(14.0%)	
	親子関係	4講座 109人 42人(38.5%) 37人(88.1%) 4人(9.5%) 1人(2.4%)	
合計	40講座 1,122人 704人(62.7%) 543人(77.1%) 140人(19.9%) 18人(2.6%) 3人(0.4%)		
(1) 良好とする評価	<p>古布を大切にしていきたいと思います(手作り布ぞおり)</p> <p>大変分かりやすい おかげで新しい年を迎える喜びを感じます(お正月を飾るアレンジメントフラワー)</p> <p>とてもよかった ずっと続けてこの講座をやってほしい(小菊盆栽)</p> <p>とても興味深く拝聴しました。ぜひ続編を希望します(ハンガリー 親戚の国)</p> <p>使いこなせていなかったのが、よかったです(初めてのタブレット)</p> <p>初めてスマートフォンに触りドキドキでした。息子の所へ電車で行ってみたい(初めてのスマートフォン)</p> <p>久々に青春に戻れて元気になりました(マンドリン演奏と歌声コンサート)</p> <p>日ごろ気付かなかった点、何気なく動いていた点等、生活に活かせるヒントが満載でした(ゆがみを改善して美ボディへ)</p> <p>小学生と幼稚園の兄弟が一緒に参加できる講座は少ないが、一緒にできてよかった。(親子でクッキング)</p>		
(2) 苦情・改善等の要望事項	<p>開催時期を早めてほしい(着こなしボタンアレンジョール 他)</p> <p>よかったが時間的短い 2回ではよくわからないので何回もひらいてほしい(初めてのタブレット)</p> <p>先生の走りを見たいので、もう少し少人数だといいなと思いました(チャレンジトレイルラング)</p>		
<<対応措置>>	<p>開催時期や回数等を再検討し、極力季節にあった時期に計画するよう努めた。</p> <p>IT関係は特に受講者の理解の程度の差が激しく、回数、時間、内容等の設定が難しいが講師と協議し補習等を検討する。</p> <p>実習、実技を伴う講座の定員の設定には講師が指導できる最大限を想定しているが、その際でも助講師、助手等を検討する。</p>		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	5,110,000	利用料金	5,974,844	使用料	57,800	使用料	5,641,210	3
	指定管理料	30,400,000	指定管理料	30,400,000	雑（納付金）	2,938,031	雑（納付金）	87,470	
	委託料	0	委託料	0	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等	0	販売収入等	0	その他	17,520	その他	205,392	
	その他収入	200,000	その他収入	192,105	計	3,013,351	計	5,934,072	
計	35,710,000	計	36,566,949	計	3,013,351	計	5,934,072		
支出	人件費	13,324,000	人件費	12,497,119	指定管理料	30,400,000	指定管理料		
	設備管理費	2,033,000	設備管理費	1,819,496	委託料		委託料	2,050,886	
	備品購入費	2,114,000	備品購入費	3,181,610	需用費	2,930,051	需用費	6,662,288	
	修繕費	855,000	修繕費	2,316,986	役務費		役務費	180,389	
	光熱水費	9,270,000	光熱水費	8,021,621	使用料・賃借料	8,866,484	使用料・賃借料	9,230,093	
	事業費	6,114,000	事業費	5,407,284	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,929,000	事務経費	2,477,513	工事請負費	399,600	工事請負費	2,557,440	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費	300,240	
	その他	71,000	その他	50,010	その他		その他	24,025,080	
計	35,710,000	計	35,771,639	計	42,596,135	計	45,006,416		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		795,310	差引	-39,582,784		-39,072,344	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								34.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績（うち市内雇用職員数） 館長1人（1人） 主事4人（4人） パート1人（1人）	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全域との係りを広める。 ・地域の課題を焦点化したり、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地元を学び理解を深める学びの場を多くするとともに、地元の人材を育成し、職員の雇用に当たっても地元雇用に努める。 ・分館や地域公民館と情報の共有、連携を深め地域の生涯学習の向上に努める。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全域との係りを広める。 ・地域の課題を焦点化したり、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地元を学び理解を深める学びの場を多くするとともに、地元の人材を育成し、職員の雇用に当たっても地元雇用に努める。 ・分館や地域公民館と情報の共有、連携を深め地域の生涯学習の向上に努める。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の諸団体、各サークル等と常に連携する、必要に応じて法人、企業とも情報を共有し地域全域との係りを広める。 ・地域の課題を焦点化したり、地域の求める講座・講演等を企画運営する。 ・地元を学び理解を深める学びの場を多くするとともに、地元の人材を育成し、職員の雇用に当たっても地元雇用に努める。 ・分館や地域公民館と情報の共有、連携を深め地域の生涯学習の向上に努める。 				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 64	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	3	6		

評価理由	受講者アンケートでは、約97%の回答者が満足、ほぼ満足とした良好な評価結果であった。また、利用者の要望に、開催時期や回数等を再検討し、極力季節にあった時期に計画、実施したことから、「利用者評価」を「4」とした。指定管理者の健全性、施設の有効活用、事業収支、管理運営全般、危機管理体制、地域連携については、計画どおり運営されていた。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	住民自治協議会をはじめ、地域と密接に連携し、住民ニーズに即した運営に心掛ける。多くの世代の利用拡充を図るため、子供や家庭、子育てなどを対象とした事業展開する。引き続き残留邦人帰国者支援事業を行い、地域の活性化に努める。
---------------------	---

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・篠ノ井地区住民自治協議会が主催する「あいさつ運動」を共催し、公民館内でも積極的にあいさつや声かけを行うとともに毎朝の職員朝礼に合わせて応対の研修を行なった。
- ・市民講座等のたびに利用者アンケートを行い、要望を把握、分析、改善、反映を行い、サービス向上に努めた。
- ・施設の改修が必要な箇所をいち早く発見し迅速に修繕を行なうとともに、より便利に利用できるよう積極的に施設改修に努めた。
- ・独自のホームページを立ち上げ、頻繁に最新の情報をアップし、情報発信に努めた。
- ・分かりやすく、魅力的で発信力の高いチラシやポスターを複製・配布・掲載し、受講機会の向上に努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・光熱水費等経費の削減に努め、減額した経費を備品の購入や施設改修にあて、利用者の利便の向上を図った。
- ・効率的な運営により人件費を削減するとともに、講師と講座内容の充実を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

篠ノ井公民館は、本館のほか7分館を所管し、約16,500世帯 約42,300人を対象とする市内最大の公民館のため、各施設の管理並びに地域性の違いやニーズの多様化及び分館間の調整など多大な労力を必要としている。

地域内に、子育て支援を行なう「こどもひろば このゆびとまれ」 青少年支援を行なう「南部勤労青少年ホーム」 女性支援を行なう「南部働く婦人の家」 高齢者支援を行なう「老人福祉センター」などの市有施設があり、それぞれが対象者別に公民館と同様の講座等を開催しており、調整の必要性を感じている。

子供や若年層の取り込み、子育て支援などこれまであまり取組みがなされなかった分野への対応が必要となっている。

(3) 次年度以降の取組み

住民自治協議会とより密接に連携し、住民のニーズに即した運営を心がける。

子供や家庭、子育てなどを対象とした事業を展開し、より多くの世代の人の利用に努める。

引き続き残留邦人帰国者支援事業を行い、地域の活性化に努める。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る